

活動団体： NPO 法人 ケニアの未来

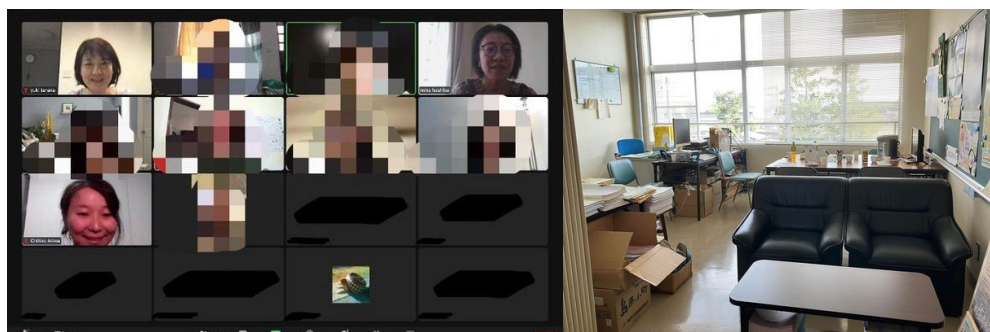
～子どもたちをすくいあげられるしなやかな社会を作る～

団体の活動



「自分が大切にされている存在だと自覚しながら自尊感情をもって社会と関わり生きていく大人になること、それを実現できる社会」を目指し、ケニアで子どもに対する暴力・子どもを巻き込んだ犯罪に対する予防活動を行っています。個別教育支援の他、これまで保護司の導入・育成、児童保護ボランティア活性化事業や早期妊娠予防活動の実施能力向上事業に携わり、2022年には草の根技術協力事業の好事例として紹介されました。

<https://kenyanomirai.org/>



オンラインイベントの運営

日本の更生保護・保護司に係るリサーチ

インターンプロフィール

有馬 千裕



ブラッドフォード大学の修士課程にて平和構築と紛争解決学を学んだ後、2022年6月より当団体に入職。紛争後の対話・和解への関心から、大学時代には南アフリカ、ルワンダ、イスラエルにてリサーチ活動を行う。

所属団体で活動するきっかけ

「紛争はいつ終わるのか?」という疑問から、紛争後における紛争当事者の対話・和解に関心を抱き、コミュニティレベルでの対話を通じて非行少年の社会復帰の促進に従事している当団体の活動に関心を抱いたためです。

どのような業務(活動)をおこなっているか

現在は国内業務に従事しており、主な活動内容として、月に一回のオンラインイベントの企画・運営・広報活動の他、海外プロジェクトの運営補助、証憑確認といった会計業務、ホームページや団体 SNS のアクセス分析、業務進捗確認表やインターンマニュアルの作成等インターン制度の体系づくりを行っています。また、8月には日本の更生保護の仕組みを学びつつ、ケニアの事業に活かせるよう、新潟県にて保護司会調査訪問を行いました。

スキルアップのためにしていること

事業に関わる知識を得るため、更生保護や早期妊娠予防、ケニアの地域性等について文献を読むほか、会計業務をスムーズに行えるよう簿記の勉強、またケニアで広く使われるスワヒリ語の勉強もしています。

海外研修について ～どこで何を行う予定？

コロナの状況次第ですが、11月にケニアにて、評価事業補佐や早期妊娠予防活動の実施能力向上事業と子どもの非行防止活動・学校連携促進プロジェクトの活動補佐、事業の実施調査を行う予定です。

今後のビジョンは？

実務家として平和構築の分野において現場での経験を積んだ後、研究者としてより効果的で人道的な平和構築の仕組みづくりに携わり、更に自身の知識や経験を日本が抱える社会問題の解決にも応用したいと考えています。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

特に平和構築の分野に関しては、2年程のプロジェクトベースで働き経験を積むのが私の卒業後のキャリアイメージでした。様々な経験を通じ時間をかけてスキルを磨くことで、キャリアの選択肢も広がると思います。

団体アピール

犯罪の環境要因に対し、人々の受け皿となるような弾力性のある社会づくりに取り組んでいる団体です。不定期ですがケニアでの活動に関係するセミナーも行っていますので、お時間ある際にご参加頂けたらと思います。